

## 設計・計画部門


 み たに だい すけ  
 三 谷 帯 介

生年月日 1980年9月香川県高松市  
生まれ

最終学歴 2005年神戸大学大学院博  
士前期課程修了

業務経歴 2005年鹿島建設㈱建築設  
計本部入社  
現在、関西支店建築設計  
部 設計主査

## ●担当した主なプロジェクト

2006年 数寄屋橋ビル

2007年 アルビオン白金教育セン  
ター

2010年 ニッセイ溜池山王ビル+永  
田町ビル

2014年 立命館中学校・高等学校長  
岡京キャンパス

## ●受賞

2008年度グッドデザイン賞

うめきた2期区域開発に関する民間  
事業提案 優秀提案

平成26年照明普及賞

## ■青年技術者のことば

「生きられる舞台としての建築」  
これは私がどのような建築を考え  
る場合でも根底に持っているテー  
マです。

建築は多様な条件と顧客ニーズ  
を紐解きながら、高い技術力の裏  
づけを積み重ねて実現するもので  
す。多大な費用と資源を使って実  
現するそれは、同時に、長きにわ  
たり多くの人に体験され影響する  
社会的な存在であり、その設計に  
は大きな責任が伴います。

その中で、生み出される建築が  
「物」であることを超えて、「人を  
幸せにする」ものでもありたい、  
と思っています。その手がかり  
は、人と人どうし、人と世界を結  
びつけ、一度きりの生を実感でき  
る体験にあるような気がしていま  
す。建築は、それが「生きられる  
(体験される)」ことで、こうした  
「幸せ」に気付くきっかけとなる  
「舞台」のような存在になれない  
かと考えています。

設計は無限の可能性の中からある  
答えを探し出す作業です。様々な  
価値観が共存する中で、設計者  
にはその過程において関係する人々  
を導き共通理解を作る広い知識と  
社会性・人間性が求められます。  
そうした素養を磨きながら、「人  
が感じ、人を幸せにする建築」を  
つくる設計者として成長していき  
たいと考えています。

## ■すいせん者

菅野忠司

鹿島建設㈱

関西支店建築設計部 部長



立命館中学校・高等学校長岡京キャンパス



ニッセイ溜池山王ビル+永田町ビル